

2015年3月期 決算短信補足資料

2015年5月

 全国保証株式会社

2015年3月期 決算サマリー

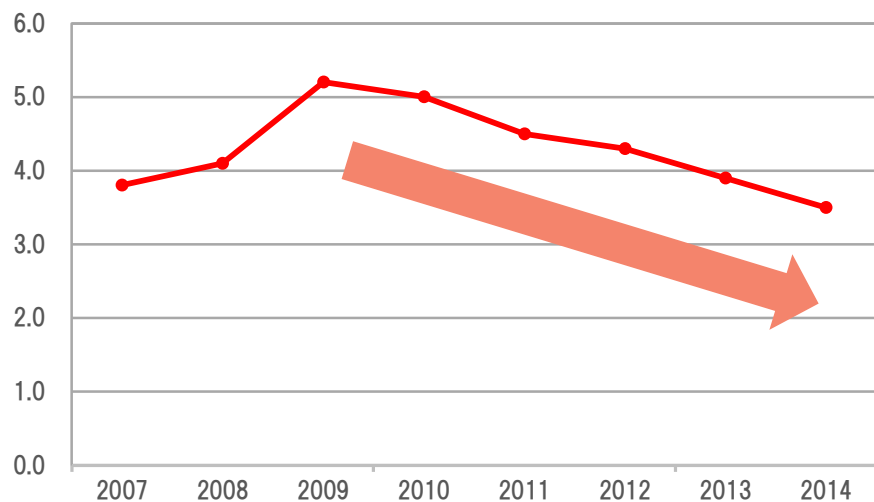
- 消費税率引き上げに伴う、駆け込み需要の反動減の長期化により新設住宅着工戸数は前年度を大幅に下回る
- 新規提携が進み、銀行8行、信用金庫3金庫、信用組合1組合、JA8組合、その他1社の合計21機関と契約締結
- 業績について、営業収益は保証債務残高が堅調に推移したことにより、計画通りに着地
- 営業費用(与信関連費用)が計画を下回ったことにより、当初の利益計画を大きく上回るものに

決算の概要

経済環境

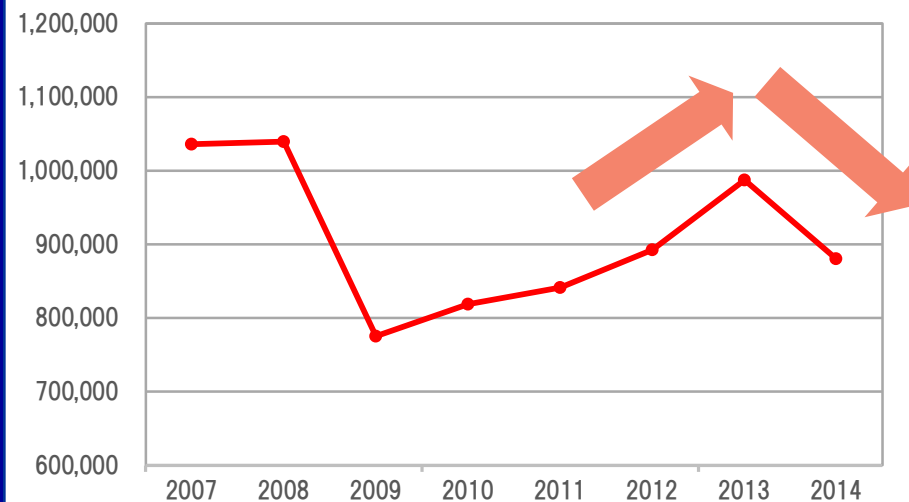
- 政府主導による経済対策や日本銀行による金融緩和策を背景に景気は緩やかな回復基調が続き、失業率の低下や有効求人倍率の上昇など雇用環境が改善
- 消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が長期化したことや消費マインドが冷え込んだことにより、新設住宅着工戸数は前年度を大幅に下回る
- 住宅ローン市場については、長引く低金利情勢を背景に、激しい獲得競争が展開

失業率
(2008年度～2014年度) (単位:%)



出所:総務省 労働力調査

新設住宅着工戸数
(2008年度～2014年度) (単位:戸)

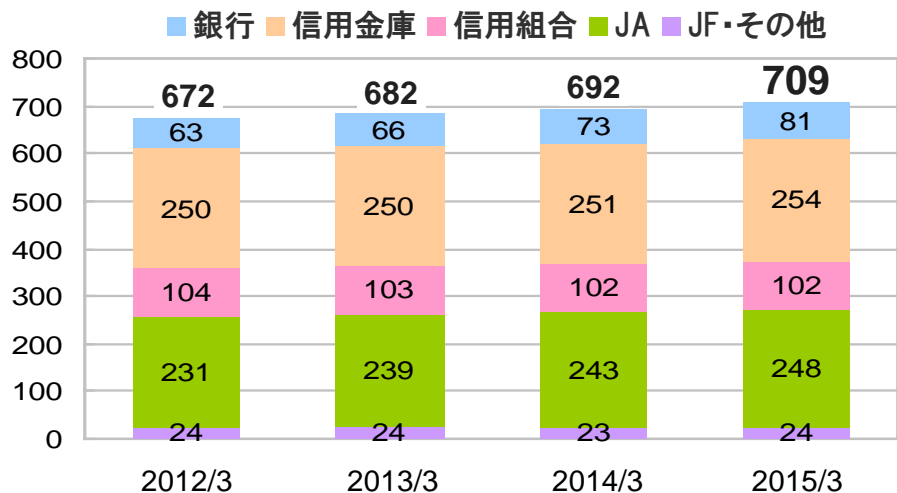


出所:国土交通省 住宅着工統計

提携金融機関数の拡大状況

業態別の提携金融機関数の推移

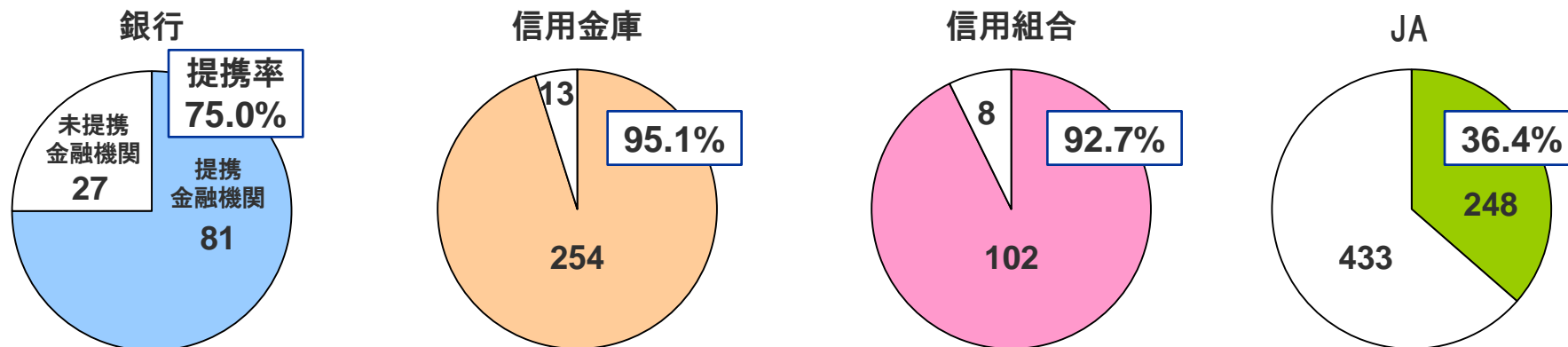
(単位:機関)



- 新規提携増加に努めた結果
2015年3月期において銀行8行、信用金庫3金庫、信用組合1組合、JA8組合、その他1社と契約締結

業態別の提携シェア

(単位:機関)

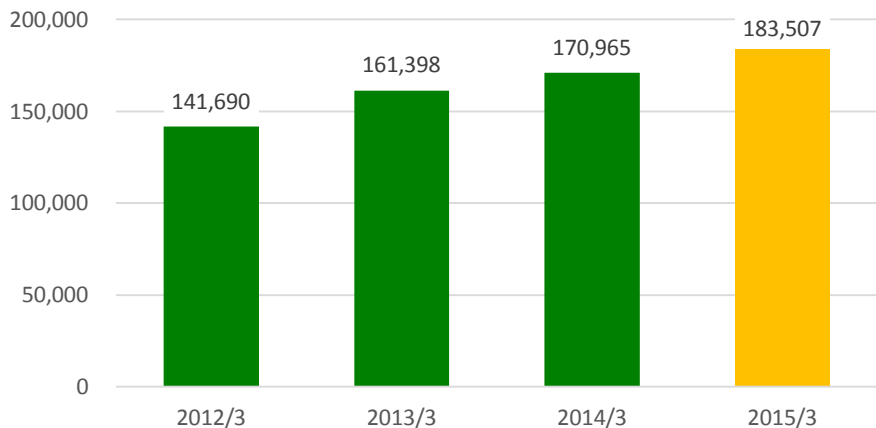


※銀行は地方銀行、第二地方銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友信託銀行、イオン銀行の合計

ローン保証業務の拡大状況

新規保証受付件数

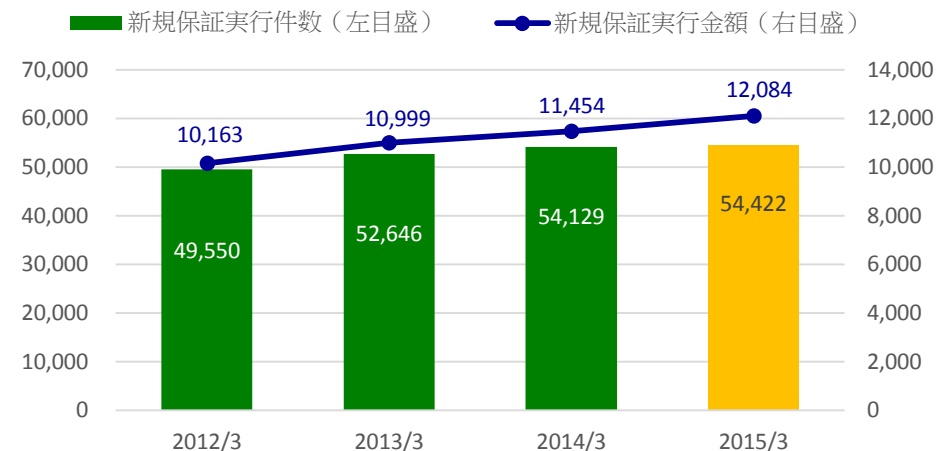
(単位:件)



民間金融機関住宅ローン保証に係る数値

新規保証実行件数および新規保証実行金額

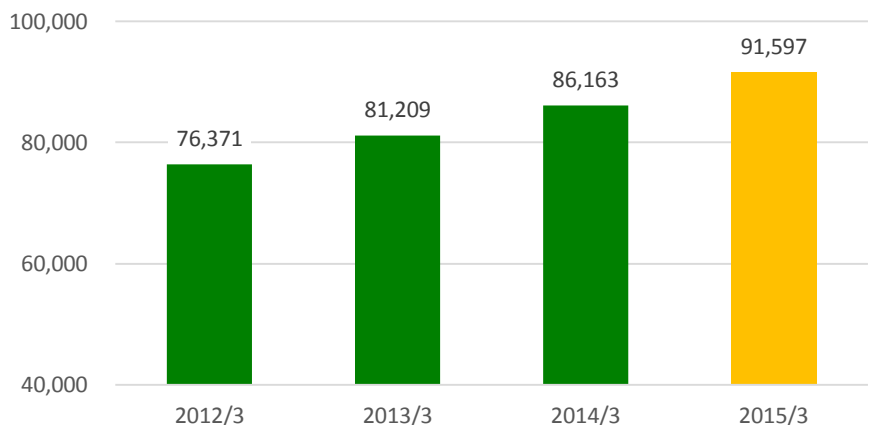
(単位:件、億円)



民間金融機関住宅ローン保証に係る数値

保証債務残高

(単位:億円)



代位弁済金額

(単位:億円)



2015年3月期 決算サマリー(P/L)

(単位:百万円)

	14/3期	15/3期	前期比	年度計画
営業収益	27,039	29,507	9.1%	28,300
営業費用	13,266	7,126	▲46.3%	7,800
うち与信関連費用	8,750	2,365	▲73.0%	2,900
うちその他	4,516	4,761	5.4%	4,900
営業利益	13,773	22,380	62.5%	20,500
経常利益	15,509	24,115	55.5%	21,800
当期純利益	9,381	15,112	61.1%	13,900
ROE	19.8%	25.0%	—	23.4%

※ 年度計画は2014年10月24日発表の業績予想数値

ポイント

● 営業収益

保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益は295億7百万円を計上。

● 営業費用

代位弁済発生が低位で推移したことを主因として、与信関連費用は23億65百万円となった結果、営業費用は71億26百万円を計上。

● 当期純利益

上記の状況により、当期純利益は151億12百万円を計上。

2015年3月期 決算サマリー(B/S)

	資産の部 (単位:百万円)		
	14/3期末	15/3期末	増減比
流動資産	138,651	154,727	11.6%
現金及び預金	114,670	112,693	▲1.7%
求償債権	15,081	12,448	▲17.5%
金銭の信託	—	20,254	—
貸倒引当金	▲9,143	▲7,536	▲17.6%
固定資産	57,182	59,242	3.6%
投資その他の資産	56,458	58,570	3.7%
投資有価証券	46,789	48,000	2.6%
資産合計	195,834	213,970	9.3%

	負債の部 (単位:百万円)		
	14/3期末	15/3期末	増減比
流動負債	28,400	29,660	4.4%
前受収益	11,754	12,450	5.9%
債務保証損失引当金	11,857	10,193	▲14.0%
未払金	528	2,516	376.1%
固定負債	120,145	123,785	3.0%
長期前受収益	117,066	123,669	5.6%
長期未払金	2,974	47	▲98.4%
負債合計	148,545	153,445	3.3%
純資産の部			
株主資本	47,592	60,370	26.8%
評価・換算差額等	▲304	123	—
純資産合計	47,288	60,524	28.0%
負債・純資産合計	195,834	213,970	9.3%

ポイント

●資産

代位弁済の発生減少に伴い「求償債権」および「貸倒引当金」は減少。

●負債

保証料の返戻方法の変更により、対象となる長期未払金を未払金に振替。

2016年3月期の取り組み

		前期の実績	2016年3月期の取り組み
保証事業の拡大	既存提携先と取引 深耕	✓ 新商品を発売し、 既存提携先の74%と 契約締結	✓ 当社ならではのサービス ✓ 利便性の高い商品提供
	未提携金融機関との 新規提携推進	✓ メガバンク・大手地銀を 含む8行と提携	✓ 銀行を中心に提携推進 ✓ 当社保証の利用率向上
	カードローン保証の 提携先増加	✓ 新規保証実行先を対象 としカードローン保証の 取り扱いを開始	✓ 既存保証先も対象範囲に 拡大
	業務効率化	✓ 審査事務について 効率化実施	✓ 業務プロセスの見直しや システム化を推進
統合リスク管理 制度の活用	制度の更なる 有効活用	✓ 統合リスク管理制度の 定着化を図る	✓ 収益性向上、経営資源の 効率的配分などに活用
企業価値の向上	継続的な取り組み	✓ 内部統制システムの機 能強化等を取り組み	✓ 財務面、人財、統制機能 を強化

業績予想

(単位:百万円)

	15/3期	16/3期		前期比
		第2四半期 (累計)予想	通期予想	
営業収益	29,507	12,340	30,840	4.5%
営業費用	7,126	3,770	8,110	13.8%
うち与信関連費用	2,365	1,230	3,000	26.8%
うちその他	4,761	2,540	5,110	7.3%
営業利益	22,380	8,570	22,730	1.6%
経常利益	24,115	9,330	24,200	0.4%
当期純利益 (四半期純利益)	15,112	6,200	16,000	5.9%

業績予想の前提	
保証債務残高	9兆7,420億円
新規保証実行件数	60,000件
提携金融機関数	715機関

その他	
ROE	21.8%
配当金(1株当たり)	51円